

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

第55号

発行元

株式会社
三栄サービス
東村山市久米川町
1-16-5
発行人 紺野琢生



IPSuS 0002394

ストローだけじゃない！ 廃プラスチックを何とかしたい！

ご存知の通り、プラス

チックによる海洋汚染が世界的に問題になっていきます。ストローが悪の代表にされて騒がれておりますが、プラスチックごみの問題は、ごみ処理の現場でも本当に深刻になっています。

我々古紙業者としても、ビニールひも、ビニール袋、PPバンド、ストレッチフィルムなど、包装資材、梱包資材として廃プラが大量に発生しております。これまでは、選別して廃プラとして売られて



当社から出た廃プラを加工したもの

いたものもあるのですが、今はお金を払って再生処理若しくは産業廃棄物として処分しています。

しかも、産業廃棄物の廃プラスチックくずの処分代も年々値上がりしてきて、当社の持ち込み先もここ二年の間に処理代が一・五倍になりました。それでも取ってくれるうちはいいのですが、産業廃棄物の中間処理場や最終処分場も処理しきれず受け入れを制限するとこちらも多くなっています。

ここまで廃プラスチックが問題になってきているのは、海洋汚染もそうです。二〇一七年にこれまでに世界中から多くの廃プラスチックくずを輸入し、リサイクルしていた中国が未選別の再生可能な廃棄物の輸入を禁止したからです。行き場を無くし

た廃プラがごみ化して、あふれてしまいました。廃家電も中国問題やバーゼル法の改正により雑品としての輸出が出来なくなりまし。解体した際にも多くのプラスチックごみが出てしまいます。また、プラスチックはきれいに選別し、フレーク

にすることで輸出が可能なものもあるのですが、選別や加工にはコストがかかります。そのようなわけで、当社としましては、選別を強化してごみの減量とリサイクル強化に努めていく所存ではあります。何点か皆様にお願いたく存じます。

①雑紙などを袋に入れて出す場合、ビニール袋ではなく、紙袋を使いましょう。ビニール袋は、破袋と処理に手間がかかるだけ

でなく、鉛筆の削りくず、たばこの吸い殻、鼻紙、ひどい時にはスプレー缶などの不純物も入りやすくなります。

②プラスチック製のファイル、クリアケースなど、古紙に混ぜないようにして下さい。いわゆるプラ製のファイルの中には塩化ビニール製のものもあるため、プラスチックとしてリサイクルできない場合があります。

③プラスチックとの複合素材は選別できないので、古紙に出さないようにして下さい。

ここ最近のネット通販の拡大の影響でしょうか、簡易包装資材として茶封筒の中身がプラスチックの緩衝材になっているものが古紙に混入している



内側がプチプチになっている茶封筒

ケースが多くなっています。複合素材は古紙にも廃プラにもならないため、混ぜないで下さい。また、こうした分別の出来ない素材は出来るだけ使わないようにしましょう。

以上、よろしくお願ひします。

昨年の輸出は一昨年と変わらず推移。今年も...

先日、二〇一八年の古紙輸出の統計が発表されました。当初、年間最大一〇万トは輸出できずに余剰するのではとの予測もありましたが、結果的に一昨年より一・二%増の約三七八万トの古紙が輸出されました。今年はどうかと、年明けより古紙価格が下落しています。

米中貿易摩擦の影響を受けた昨年と違い、年末までは輸出は不安定との見方もあります。二〇二〇年問題もあり今年も先行き不透明ですが、引き続き地元で集めた古紙を国内で一〇〇%リサイクル出来るよう頑張ります。